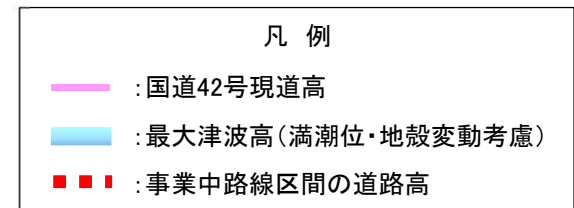
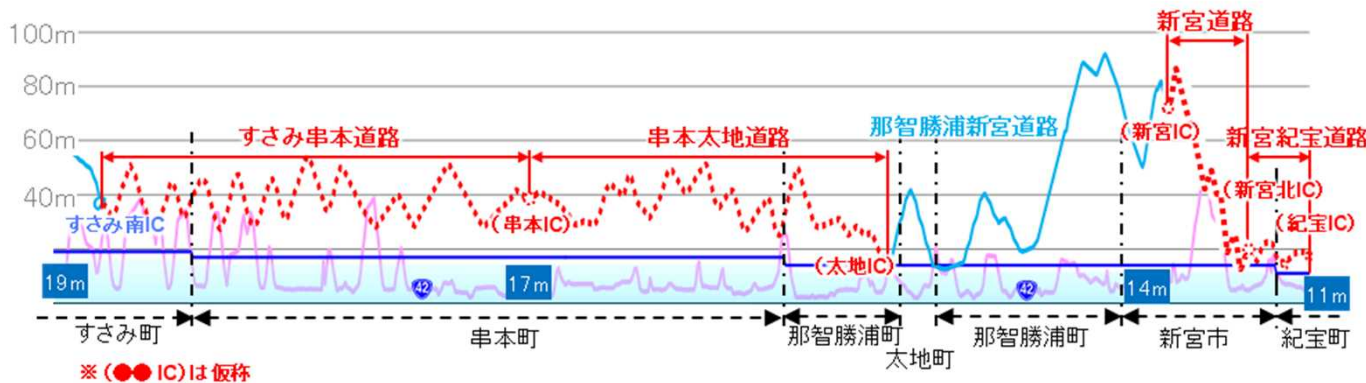
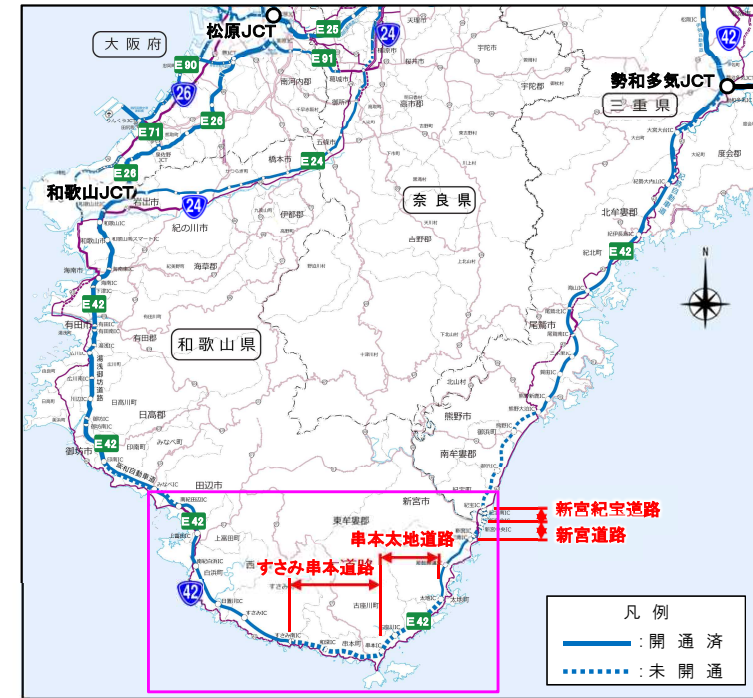
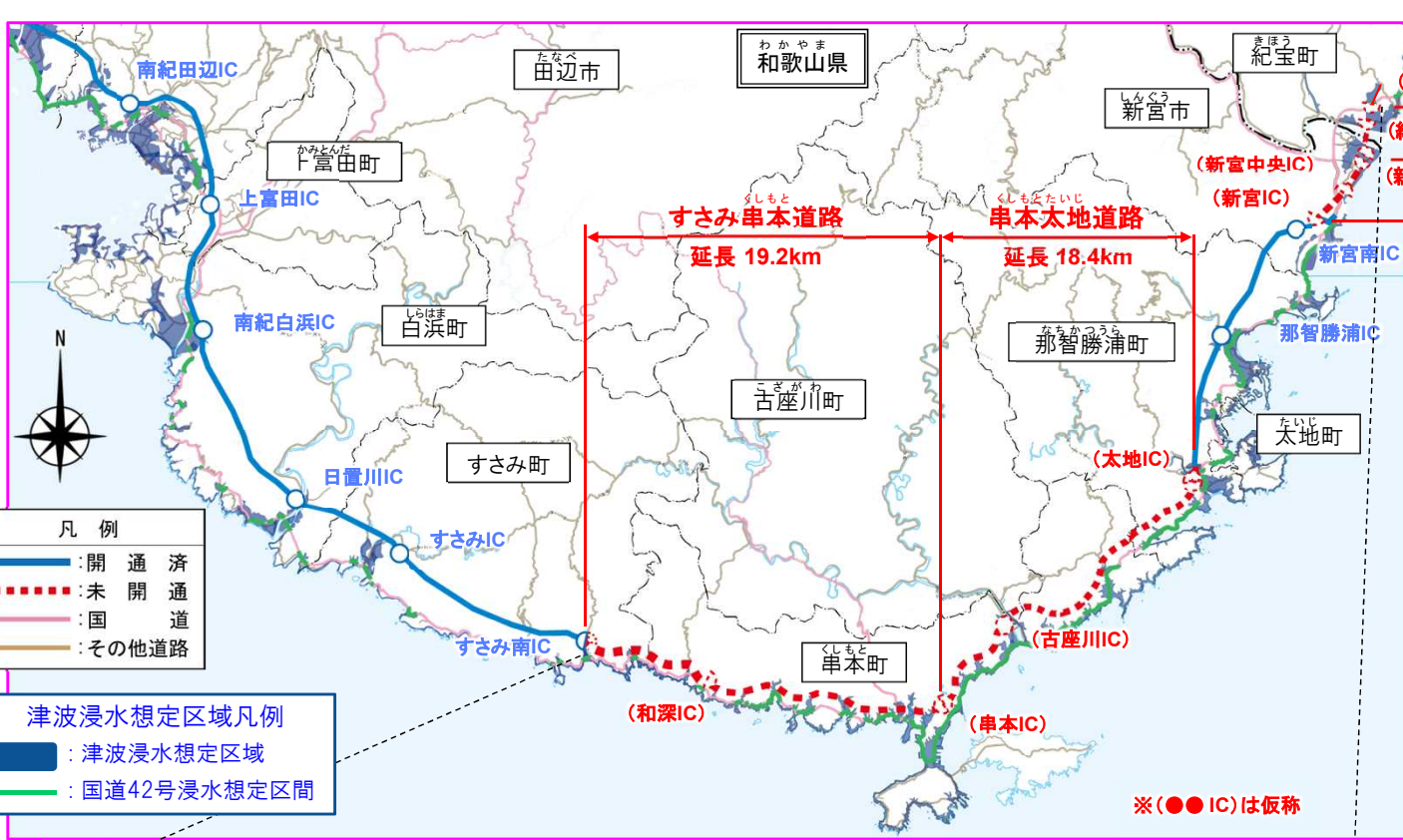


# 近畿自動車道紀勢線 津波浸水想定区域

■ 津波浸水想定区域を回避することを基本とし、最大津波高を考慮して十分な高さを確保することにより、災害時における安全性・信頼性を確保



# 避難路設置の考え方 ～イメージ図～





## 津波発生時の避難活動支援

- ◆ 国道42号及び紀勢線では、インターチェンジや切土した法面天端の空き地を避難場所に利用するため、避難階段・スロープを整備



避難階段



避難通路(スロープ)

※ 緊急時には簡単に壊せる扉を設置

沿岸部の津波浸水区域を中心に段階的に避難階段等を整備し、地域の避難活動を支援

## 減災に向けた情報提供

- ◆ 津波被害を軽減するため、標識柱などを利用して、海拔情報を道路利用者へ提供

### 海拔シート設置例



海拔シートの様式案



(串本市二色)

### 道路情報板を利用した情報提供イメージ



注) 情報掲載文は、写真にイメージのはめ込みをしています



# 道路法面を利用した一時避難場所の設置

- 国道42号「田辺西バイパス」では、切土した法面天端の空き地を避難場所を利用
- 避難場所への階段やスロープを整備

【位置図】

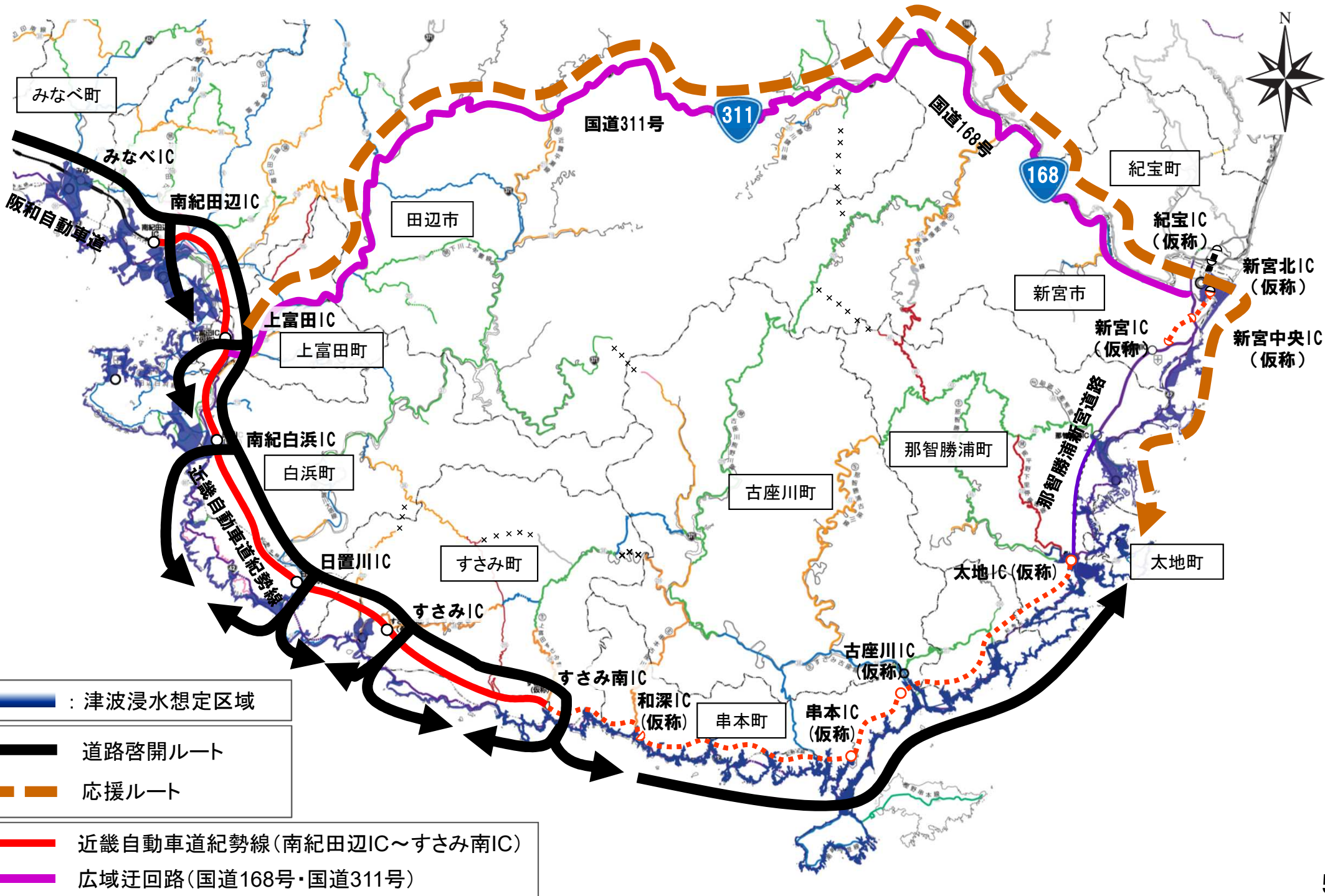


【現場写真】

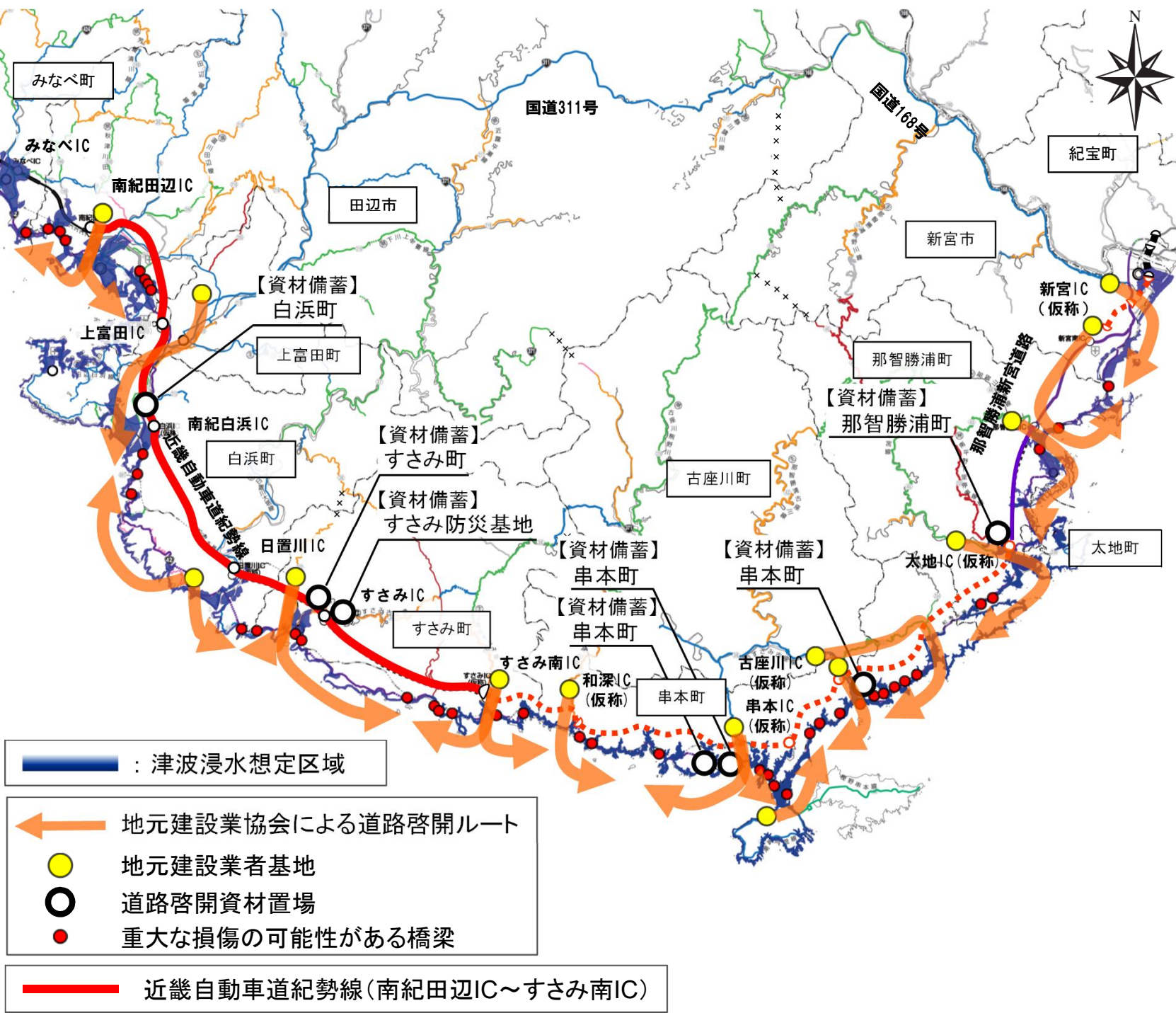




# 南海トラフ巨大地震発生時の道路啓開イメージ(広域支援)

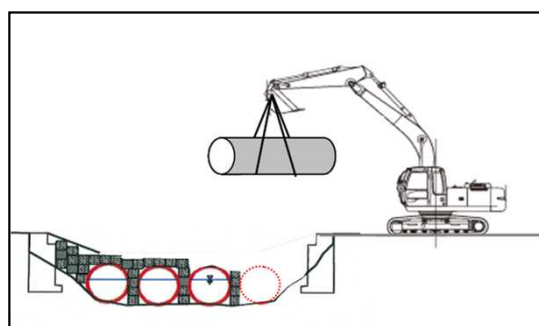






### 道路啓開資材配備状況

品目	数量
暗渠排水管	約230本
大型土のう袋	約4,000袋
敷板	約1,500枚





# 広域陸路確保防災訓練～瓦礫撤去・仮橋設置訓練～

## ■各機関が連携して、津波による橋梁流出や車両の移動を想定した実践型訓練を実施

- 日 時 平成30年10月14日(日) 9時00分～11時00分
- 場 所 和歌山県西牟婁郡すさみ町周参見(紀勢自動車道すさみ防災基地)
- 主 催 和歌山県・紀南河川国道事務所・和歌山河川国道事務所
- 参加機関 陸上自衛隊第304水際障害中隊、関西電力(株)、紀南建設業協同組合
- 訓練概要 南海トラフ巨大地震による津波により、橋梁の流出などが発生

- ・がれき・電柱除去訓練(陸上自衛隊、関西電力(株))
- ・放置車両移動訓練(近畿地方整備局(紀南河川国道事務所・和歌山河川国道事務所)、紀南建設業協同組合)
- ・緊急仮設橋組立訓練(紀南建設業協同組合)

### 【訓練場所】



### ○ガレキ・電柱除去訓練



### ○放置車両移動訓練



### ○緊急仮設橋組立訓練





ながいざか

- 紀勢線（すさみ I C～すさみ南 I C）の長井坂トンネル（延長 2,841m）は、両坑口とも切り立った溪谷の中腹に計画され、坑口からの施工が困難であったことから、本体トンネルの中間部に達する工事用トンネル（作業坑：延長 473m）を掘削して本線トンネル工事を実施。
- 本作業坑は開通後も存置し、避難路・迂回路として活用している。

①国道42号進入口



②避難路(旧作業坑 坑口正面)



③避難路(旧作業坑 本線分岐部)



④長井坂トンネル・旧作業坑遠景

